

意見交換 主な内容

意見等 第1子が2歳に達すると、第2子が第1子、第3子が第2子とカウントされ、支給額が減る。手当額を維持するような市独自施策があれば、子どもを増やす動機付けになるのではないかと。

応答 児童手当のご質問だが、子育てという広い範囲で考える中で、多くの方に恩恵のある子育て支援策を進めたい。児童手当の充実というのも、1つの考え方ではあるが、限られた予算の中で、優先順位をつける必要がある。子育て先進都市をめざす本市として、ご意見いただいた点も含め、今後の支援策を考えてまいりたい。

意見等 夫婦ともに高齢者になって、これから自分はどうなるかという不安がある。市長として、掲げられている生涯住み続けるための施策イメージを聞きたい。

応答 行政としては、まずは健康で過ごしていただくために、健康寿命を延伸するための施策として、100歳体操、移動支援などを実施している。介護が必要になった際には、介護保険制度はあるが、課題等を踏まえ、現在、策定中の高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に反映し、必要な支援の提供に取り組む。

意見等 狭山池の周遊でさやりんポイントを貯められるような仕組み（府の施策との連携等）を導入してはどうか。マンション等でも使いやすい生ごみ処理機の購入補助事業を行ってはどうか。

応答 ウォーカブルシティをめざしており、散歩が特典に繋がる仕組みの実現に向けて、考えていきたい。生ごみ処理機の補助については、リサイクルに繋がる仕組みを考える中で、ごみ減量の効果や必要性を検討したい。

意見等 部活動の地域展開に伴う保護者負担が課題である。習い事・塾代の助成や、公共施設を活用した放課後の無料学習支援を行ってはどうか。

応 答 部活動の地域展開については、自己負担でスタートを考えている。また、学習支援については、現在、生活困窮世帯等への支援を中心に実施している。今後、どのような支援が本当に必要か考えたい。

意見等 子どもがスマホやゲームに費やす時間が長く、睡眠不足や運動不足が懸念される。子どもたちが外で遊ぶ機会が減っている。公園の遊具の活用や、時間制限を設けた遊び場の開放など、外遊びを促進してほしい。

応 答 子どもたちの居場所づくりや、外遊びの促進は重要と認識している。コミュニティ・スクールの活動を通じ、様々な学習や体験の場を増やしたい。また、近隣住民の理解を得ながら、公園の活用や、地域と連携した生涯学習の仕組みづくりを含め、検討を進めたい。

意見等 市政に意見を届けるにはどのような手段があるか。

応 答 「ふるさといきいきカード」、担当部署への問い合わせなどがある。